

3月新刊図書

1 『ミナミの春』

著者：遠田 潤子

出版社：文藝春秋

大阪・ミナミを舞台に人の「あたたかさ」を照らす傑
作家族小説

【第16回 山田風太郎賞 受賞(2025年)】

2 『殺し屋の営業術』

著者：野宮 有

出版社：講談社

「営業ノルマ」は、2週間で2億円。

稼げなければ、全員まとめて地獄行き。

常識を覆す発想から走り出す、ジェットコースター・
ミステリー！

【第71回 江戸川乱歩賞 受賞(2025年)】

3 『カフェーの帰り道』

著者： 嶋津 輝

出版社： 東京創元社

東京・上野のカフェーで女給として働いた、“百年前のわたしたちの物語”。

【第174回 直木賞 受賞(2025年)】

4 『時の家』

著者： 鳥山 まこと

出版社： 講談社

ある家に暮らしていた三代の住人たちの存在と記憶、感情がよみがえる。

三田文学新人賞でデビューした注目の小説家が傑出した完成度で描く、あたらしい建築文学。

【第174回 芥川賞(2025年)、第47回 野間文芸新人賞(2025年)のダブル受賞】

5 『カンザキさん』

著者： ピンク地底人3号

出版社： 集英社

「わしのこと以外、書くことなんてないやろ」
カンザキさんは、悪魔だったのか、それとも。

【第47回 野間文芸新人賞 受賞(2025年)】

6 『この夏の星をみる(上)・(下)』

著者： 辻村 深月

出版社： 角川書店

この物語は、あなたの宝物になる。